



社会生活基本調査について知ろう



皆さんは「社会生活基本調査」をご存じですか？詳しく知らないという方も多いと思いますが、国が実施する統計調査のうち統計法により特に重要なものとされる「基幹統計調査」の1つであり、調査の結果はFrom 静岡でも度々参考のデータとして利用しています。そこで今回は平成 28 年に行われた「社会生活基本調査」について紹介します。

どのような調査なの？

私たちが1日のうちどのくらいの時間を仕事、家事、地域での活動などに費やしているか、また、過去1年間にどのような活動を行ったかなどを調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることが目的です。5年ごとに行われており、平成 28 年調査は 9 回目の調査でした。

調査の対象は？

平成 28 年調査では、指定する調査地域内にある世帯のうちから、無作為に選定した約 8 万 8 千世帯の 10 歳以上の世帯員約 20 万人が対象となりました。静岡県では約 1,800 世帯に回答していただきました。

どんなことを調査するの？

ふだんの健康状態、学習・研究活動、ボランティア活動、スマートフォン・パソコンの使用状況など、過去1年間の様々な活動状況や指定された2日間の生活時間を調査します。

調査方法は？

特別職の地方公務員として任命された調査員が、調査世帯ごとに調査書類を配布します。調査世帯は、インターネットで回答するか、紙の調査票で回答するかを選択できます。平成 28 年調査のインターネット回答率は 10.2%でした。

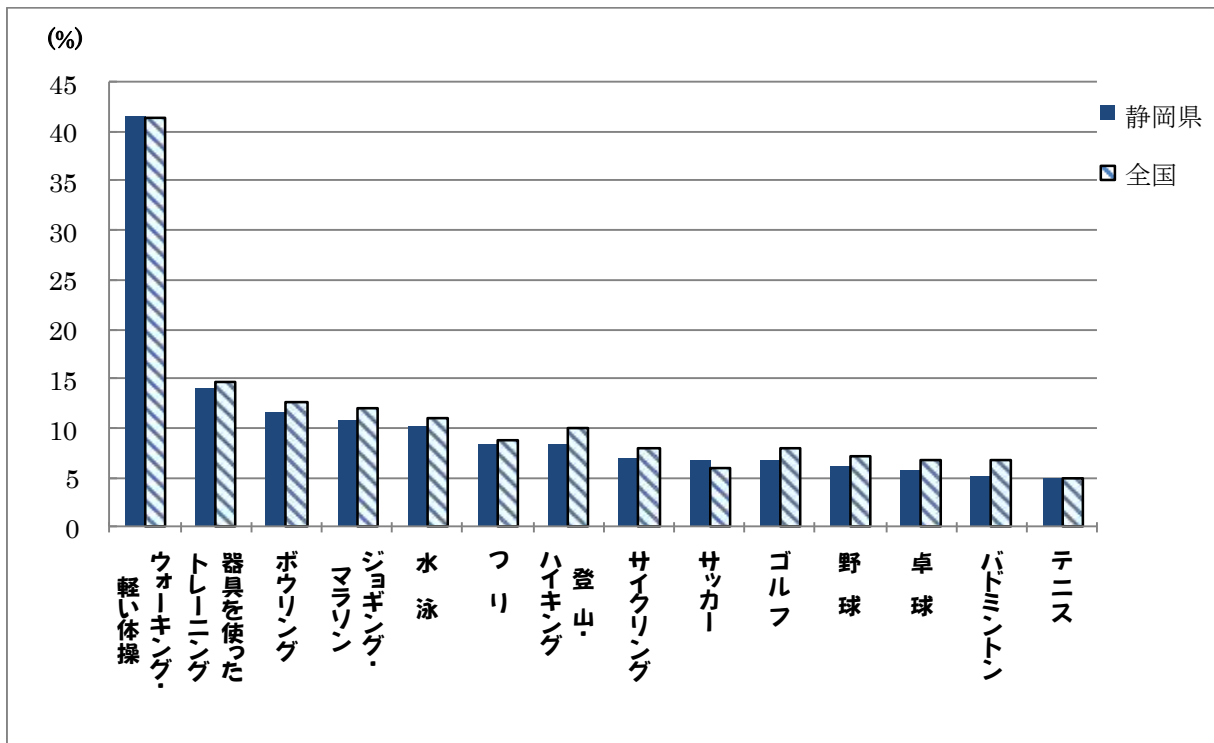
調査結果は何に使われるの？

男女共同参画や少子高齢化対策といった行政施策のための基礎資料として利用されているほか、大学・研究機関等における学術研究などに幅広く使われています。

社会生活基本調査の概要は分かっただけでしょうか？次のページで、具体的に、この調査によってどのようなことが分かるのか紹介していきたいと思います。

平成 28 年社会生活基本調査 - 生活行動に関する結果 - から

「スポーツ」の種類別行動者率



(注) 行動者率(静岡県)が5%以上の種類を掲載。



静岡県は、サッカーの行動者率が全国で3位！卓球は27位だよ！

令和3年の調査ではスマートフォンの使用はもっと増えるかな？



平成 28 年社会生活基本調査 - 生活時間に関する結果 - から

スマートフォン・パソコンなどの使用の有無、使用時間別の人数構成比 週全体 (単位:%)

	総数	使用しなかった	使用した	1時間未満	1-3時間未満	3-6時間未満	6-12時間未満	12時間以上
静岡県	100.0	42.8	57.2	34.4	38.9	18.4	6.6	1.8
全国	100.0	39.9	60.1	32.7	39.0	18.9	7.1	2.3

社会生活基本調査がどのような調査なのか分かったでしょうか。令和3年には第10回目の社会生活基本調査が控えています。

興味を持った方は更に詳しく調査について調べてみてはいかがでしょうか。